

2008. 6. 29

上

毛

新

星

正々堂々 勝負を

きょうまで
体育対抗戦

16競技で熱戦

高崎経済大

都留文科大

高崎経済大と都留文科大（山梨県都留市）の第三十五回総合体育対抗戦「鶴鷹祭2008」が二十八日、高崎市上並榎町の高崎経済大で始まった。スポーツを通じて両市立大の学生が交流を繰り広げるもので、一般市民も観戦できる。きょう二十九日まで。



開会式で応援合戦を繰り広げる高崎経済大の応援団

二十八日は競技に先、体育館で開会式を行
立って高崎経済大総合、い、両校から約千人の

学生が参加。大学歌の「いきなり」とあいさつ吹奏に続いて、大会会長の吉田俊幸高崎経済大学長が「両校の名譽をかけて正々堂々の勝負を。大学も連携の時代を迎え、鶴鷹祭の精神を大学間、学部間の交流事業に役立てて」を祝辞。高崎経済大は応援団が学生をリードして大学歌を斉唱した。応援合戦も行われ、都留文科大が応援団の「武田節」やチアリーダーの華やかな演技を披露した。高崎経済大の足跡を紹介するパネル写真展も開かれてい

たり、伝統の「高崎第一十五連隊」を踊り、大会を盛り上げた。鶴鷹祭は市民に開放して体育会加盟十六競技で熱戦を展開。大学の図書館では、交流